

2) 商業

【現況と課題】

本市の商業は、モータリゼーションの進展や人口の郊外化により、国道や県道などの幹線道路沿いなどに、専門の量販店やコンビニエンスストア、ファミリーレストランなど駐車場を備えた郊外型の店舗が進み、商業地が市の中心部から周辺地域へ拡大してきました。一方、中心市街地における既存商店街の商業活動は停滞し、まちのにぎわいや魅力が失われています。

そのため、これまで居住環境や街並み景観とあわせて既存商店街の整備を進めてきました。今後また、既存商店街への小売店などの進出を働きかけるなど、にぎわいの創出に努める必要があります。

また、郊外の幹線道路沿いなどにおける大型店の立地に対しては、都市計画法、大規模小売店舗立地法等の適切な運用と周辺市民の生活環境の保全と確保を図る必要があります。

■商業の状況

区分	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	年間販売額 (百万円)
平成11年	724	4,447	77,877
平成14年	659	4,127	76,250
平成16年	603	4,026	75,181

資料：商業統計調査

■総社市中小企業保証融資（新規融資）の状況

区分	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
利用件数(件)	30	49	43	65	61

資料：経済部商工観光課

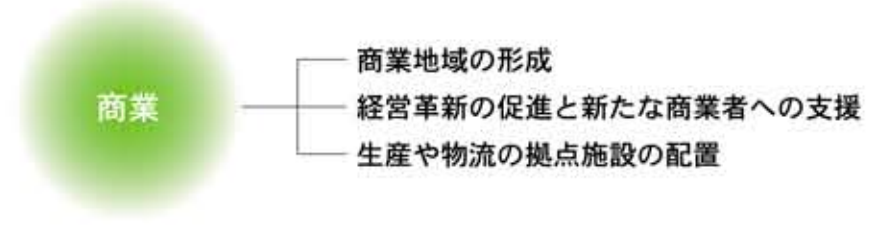
【基本方針】

近代的な経営の確立のため、商業経営者の経営意識の改善等を促し、販売促進イベントの共同展開など、活発な商業活動をおしを支援します。

大規模小売店舗の立地に対しては、都市計画法、大規模小売店舗立地法等の適切な運用に努めます。

また、市内中小企業の設備の近代化促進と、その育成振興を図るための融資制度等活用件数70件を目指します。

【施策の体系】



【主要施策】

(1) 商業地域の形成

- ① 総社駅周辺の商業地では、JR総社駅前広場の整備とあわせて、にぎわいの創出に努めるとともに、地元商業関係者との協力のもと、地域にふさわしい小売業の配置を働きかけます。
- ② 幹線道路沿いにおける大型店の出店にあたっては、都市計画法、大規模小売店舗立地法等の適切な運用と周辺市民の生活環境の保全、確保を図ります。

(2) 経営革新の促進と新たな事業者への支援

- ① 店舗の新・増改築、共同経営など経営の合理化と革新を図るため、商工会議所など関係機関との連携のもと、相談業務や講習会を開催するとともに、各種中小企業関連融資制度の周知を図ります。
- ② 特色ある店舗等の設置を促すため、各種支援制度を活用し、新規事業者の創出を進めます。

(3) 生産や物流の拠点施設の配置

- ① 交通条件の整っている岡山総社インターチェンジ周辺には、生産や物流の拠点施設の配置を促します。

【協働に向け期待される役割】

市民	商業振興に関する理解など
商工会議所等	各種講習会の開催、各種中小企業関連融資制度の周知など
企業等	経営革新の合理化、店舗の適正な出店など
行政	生産や物流施設の誘致促進、新たな事業者への支援制度の活用など

3) 工業

【現況と課題】

本市の工業は、広域的な交通条件に恵まれていることから、内陸型工業都市として発展し、自動車部品製造業を中心に、食品製造業、繊維製品製造業等が主力となって、雇用と市民所得の向上に大いに寄与しました。

しかしながら、長引く経済不況やそれに伴うリストラの進行、経済のグローバル化による製造業の構造変化の影響を、本市もまた受けています。

このようななか、本市の中心産業である工業生産を維持していくうえでも、地元既存企業や地場産業の体質強化、新たな産業の創出・育成を図り、競争力のある産業づくりを進めていく必要があります。また、今後とも本市の恵まれた交通条件を生かし、助成制度や融資制度を活用して優良企業や研究所の誘致に努めるとともに、岡山県立大学との産学官の連携による共同研究など新たな取り組みを進めることも必要です。

■工業の状況（従業者4人以上の事業所）

区分	事業所数 (事業所)	従業者数 (人)	製造品 出荷額等 (百万円)	1事業所あたり 従業者数 (人/事業所)	1事業所あたり 製造品出荷額等 (百万円/事業所)
平成12年	196	9,765	237,642	49.8	1,212.5
平成13年	171	9,197	228,156	53.8	1,334.2
平成14年	169	9,182	229,117	54.3	1,356.7
平成15年	170	9,305	230,615	54.7	1,356.6
平成16年	161	9,403	214,788	58.4	1,334.1

資料：工業統計調査

■共同研究の状況

区分	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度
件数(件)	0	1	1	1	1

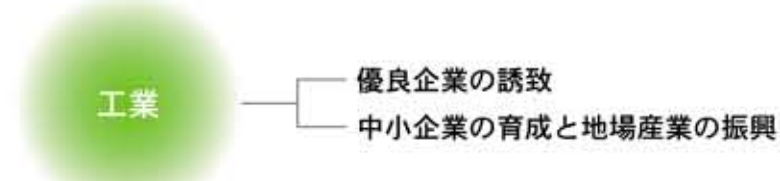
資料：経済部商工観光課

【基本方針】

社会経済情勢の変化に対応した立地環境の整備や企業誘致活動を推進します。

地元既存企業や地場産業の新製品の開発、技術の高度化を支援し、製造品出荷額等の増加、共同研究の件数2件を目指します。また、新たな産業の創出に対する支援を行います。

【施策の体系】



【主要施策】

(1) 優良企業の誘致

- ① 本市の交通条件の優位性を生かし、各種融資制度や助成制度の活用により、優良企業や研究所の誘致を進めます。
- ② 現在、本市と誘致協定を締結している企業について、融資や助成制度を活用した早期操業を促します。
- ③ 新たな工場適地を調査、選定するとともに、工場適地への進入路を整備するなど工場立地を促進し、企業の進出動向を見据えながら、工業用地の整備を進めます。
- ④ 産業構造の高度化を図るため、情報基盤の整備を生かしてIT関連産業、研究開発型企業等の誘致を目指します。

(2) 中小企業の育成と地場産業の振興

- ① 地元既存企業や地場産業を中心とする中小企業に対して、経営体質の強化支援を関係機関との連携のもとに図ります。
- ② 新たな産業の創出支援として、新製品の開発や技術の高度化を岡山県立大学の地域共同研究機構や県工業技術センター等と連携し、企業の技術水準の向上を促すとともに、情報交換や共同研究を行う異業種間交流を進め、産・学・官のネットワーク化を図ります。

【協働に向け期待される役割】

市民	工業振興に対する理解など
大学等	技術水準の向上の促進、企業等との共同研究の実施等
企業等	企業間連携の強化、大学等との共同研究の実施等
行政	優良企業の誘致、中小企業の育成と地場産業の振興など

4) 観光

【現況と課題】

本市の観光資源は、歴史的景観に優れた吉備路風土記の丘、雪舟ゆかりの井山宝福寺、西門や角楼などの複元整備が進められている鬼ノ城、また、名勝兼溪や高梁川などの自然環境などがあげられます。あわせて、吉備路れんげまつりや国分寺五重塔のライトアップなどの観光イベント、備中神楽や備中温羅太鼓などの郷土芸能を通しての観光PRなど、ソフト的な観光面も充実しています。

しかし、本市は恵まれた観光資源と自然環境、交通条件等を備えながら、観光地を効果的に結ぶ観光ルートが設置されていないこと、観光客に対する特色ある特産品や飲食施設が少ないこと、観光情報の提供体制が十分でないことなど多くの課題がありますが、平成15年に開業した国民宿舎サンロード吉備路は、通過型の観光から滞在型の観光へと変化をもたらすと同時に観光拠点施設としての役割も徐々に果たしてきているところです。

今後は、倉敷美観地区や足守武家屋敷など、総社市周辺の観光地などと連携を図りながら広域観光ルートを設定するとともに、観光案内所の内容充実やインターネットを利用した情報提供体制の充実を図り、広く観光客の誘致を進める必要があります。

■主な観光地別観光客数の推移 (単位：千人)

観光地名	平成14年	平成15年	平成16年
備中国分寺	304	548	553
宝福寺	274	277	287

資料：岡山県観光客数調査

■市内宿泊施設の宿泊者数の推移 (推計) (単位：千人)

区分	平成14年	平成15年	平成16年
施設数(公共2、民間6)	97	98	99

資料：経済部商工観光課

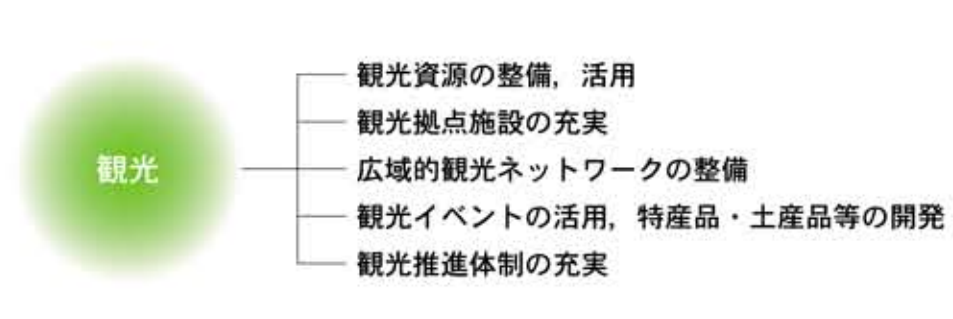
【基本方針】

歴史的遺産や自然環境を生かした観光資源の開発と施設整備を計画的に進め、広域的に散在している観光資源のネットワーク化を進めます。

また、観光拠点施設である国民宿舎サンロード吉備路や民間の宿泊施設等を活用して宿泊者数10万人超を目指します。

特産品の開発や体験型交流拠点等の整備を進めるとともに、観光に関する情報を広く情報発信します。

【施策の体系】



【主要施策】

(1) 観光資源の整備、活用

- ① 本市の観光拠点である備中国分寺や吉備路自転車道などを中心とした吉備路風土記の丘一帯については、歴史的景観の保全に配慮しながら観光地としての活用を図ります。
- ② 鬼ノ城、岩屋を中心とする北の吉備路については、歴史遺産とともに、その自然を生かしたフィールドミュージアムとして活用を進めます。
- ③ 名勝兼溪、高間キャンプ場、砂川公園などについては、水と緑の豊かな自然を生かした活用を図ります。
- ④ 雪舟ゆかりの井山宝福寺、雪舟生誕地や福山城跡等をはじめとする貴重な歴史遺産については、その保全に配慮しつつ観光的活用を図ります。
- ⑤ 観光地においては、トイレや休憩所、案内表示板などの環境整備を進め、適切な維持管理に努めます。
- ⑥ グリーンツーリズムに対応する観光型・体験型農業の取り組みに努めます。

【協働に向け期待される役割】

市民	イベントへの参加、観光ボランティアへの参加など
観光協会等	観光PRや情報提供の推進、観光推進体制の充実など
企業等	観光イベントへの支援、特産品・土産品等の開発など
行政	観光資源の整備・活用、観光拠点施設の充実など

(2) 観光拠点施設の整備

- ① 広域的な観光拠点施設である国民宿舎サンロード吉備路やもてなしの館の内容充実と利用拡大を図ります。
- ② 古代吉備文化を発信する拠点として、岡山県立博物館の吉備路への誘致を進めます。
- ③ きめ細やかな観光サービスを提供するため、観光案内所の内容充実を図ります。

(3) 広域的観光ネットワークの整備

- ① 市内の各観光地をルート化した観光ガイドパンフレット等を新たに作成するとともに、ウェルカム観光ガイドの組織を充実し、心のこもった観光サービスの提供に努めます。
- ② 観光客の利便性を図るため、交通手段の向上に向けた公共交通機関の運行に関する調査・研究を進めます。
- ③ 関係市町との連携強化を図り、倉敷美観地区や足守武家屋敷など周辺の観光施設と連携した広域観光ルートの設定や観光宣伝隊の派遣充実を図り、吉備路観光の広域的なネットワーク化を進めます。

(4) 観光イベントの強化、特産品・土産品等の開発

- ① 吉備路れんげまつり、国分寺五重塔のライトアップなどの観光イベントや備中神楽、備中温羅太鼓などの郷土芸能への支援を行い、本市への観光客の誘致に努めます。
- ② 関係機関との連携を図り、魅力ある特産品・土産品、郷土料理の開発に努めます。

(5) 観光推進体制の充実

- ① 岡山市や倉敷市などとの広域的連携体制を図りながら、広くPR活動を行うとともに、広域観光パンフレット等の充実や観光情報紙、マスコミ、インターネット等を利用した観光PR、情報提供を積極的に行います。
- ② 本市観光の中心的組織である総社市観光協会など観光推進体制の充実を図ります。

